

株主・投資家の皆さまへ



上原 英治 代表取締役副会長
安西 邦夫 代表取締役会長
市野 紀生 代表取締役社長

株主ならびに投資家の皆さまには、平素より当社事業へのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2004年度は、2005年1月に実施した料金引下げの影響、原油価格高騰に伴う原材料費の増加などの利益悪化要因がありました。ガスの拡販や全社的なコストダウンにより、営業利益は前年度比4.6%減の1,453億円となりました。当期純利益は前期に退職給付債務の将来負担の軽減を目的に一過性の損失を計上していたため大幅に増加し、87.7%増の840億円となりました。

また、当社グループは、2002年10月にコア事業領域であるエネルギー関連領域の中で、グループとして成長・発展する中期経営計画「フロンティア2007」を策定し、ビジネスモデルの変革、エネルギー関連領域での事業拡大、グループ企業価値の拡大を目指し、諸施策を着実に実行してまいりました。

その結果として、これまでの実績を踏まえた2005年度計画において、「フロンティア2007」の最終年度の経営諸目標をほぼ達成できる見通しとなりました。

一方で、「フロンティア2007」策定時と比べてエネルギー間競争が一層激化するなど、経営環境は日々変化しています。このような経営環境の中で当社グループが持続的成長を実現するための政策課題を明確にすべく、次期中期経営計画の策定作業を進めており、2006年1月を目途に発表する予定です。

東京ガスグループは、企業価値をさらに高め、株主・投資家の皆さまをはじめ、すべてのステークホルダーのご期待にお応えできるよう努力してまいります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長

安西邦夫

代表取締役副会長

上原英治

代表取締役社長

市野紀生